**新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン**

**（第37回　ルーセントカップレディースクラブ対抗ソフトテニス大会）**

大会主催　 沖縄県レディースソフトテニス連盟

　　　　代表者名　　　会　　長　翁長　きさえ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大会責任者　　　　　新垣　美智子

**１．基本チェック**

□　体温測定　　　　　　　　　　　　　　　□　手指消毒の実施徹底

□　マスクの着用　　　　　　　　　　　 　□　消毒設備の設置

□　密の回避

**２．基本的な感染拡大予防策**

（１）感染症防止のための参加者整理の方法

①密にならないための対策

・出場する選手以外の応援・観戦でのご来場は控えるようにする。

・受付時に並ぶ際、２ｍ程度の間隔を空けるようにする。

・試合待機時は密集を避けるようにする。

②発熱等の症状のある方の参加制限方法

・当日の朝、来場する前に各自で検温を行い、発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、出場停止とする。

③その他

・大会本部（クラブハウス）に体温計を設置し、必要に応じて計測できるようにする。

・開会式時の参列参加者は、参列間隔を取り、挨拶や注意事項等を略式化する。（アナウンスで行う等）

（２）対人距離の確保の方法

①接触感染対策

・コート内・外で他人と共有する物品（飲み物のキーパー等）は無くし、使い回しをしないで、個別で持参し対応するようにする。

・団体戦時の試合開始前にコート内で円陣を組まない事、また、試合終了後、選手間での握手は、禁止とする。

②飛沫感染対策

・大会受付時テーブルの前に飛沫拡散防止の為スクリーンを設置する。

・試合中に大声での発声、応援、又は近接した距離での会話を原則行わないようにする。

・試合中以外は、マスク着用、対面での会話は避けるようにする。

（３）施設の換気対策

・大会本部（クラブハウス）は常時、窓は二カ所以上空けておく。

（４）施設・設備・物品等の消毒対策

・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、ドアノブなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

（５）その他基本的な感染拡大予防策

・会場内に消毒液を設置し、手指消毒の徹底を呼びかける。

・こまめな手洗い・咳エチケットの徹底を呼びかける。特にトイレ手洗い場では、石鹸を必ず使用し手洗いを徹底する。

・大会本部放送にて３密対策のアナウンスを適宜行う。

**３．独自の感染予防対策**

・感染者が発生した場合、参加者へ連絡を取る必要があるため、当日選手変更については、受付時に変更する参加者の名前を提出させる。もしチーム内に感染者が出た場合、チーム代表者は、活動を停止し、速やかに県連盟へ報告する。

・試合終了後は速やかに帰宅するよう協力を求める。